

日 誌 (昭和56年3月)

【国 内】

- 2日 ○政府、政府短期証券割引歩合の引下げを決定
(実施は4月6日、「要録」参照)
- 12日 ○経済企画庁、昭和55年10～12月期の国民所得統計速報を発表(10～12月期の実質国民総生産は前期比+0.6%)
- 14日 ○東京証券取引所はじめ全国8証券取引所、株式の信用取引の委託保証金率を引下げ(40→30%)
- 17日 ○政府、景気総合対策を決定(「要録」参照)
○日本銀行、公定歩合1%引下げ(3月18日実施)および預金準備率の引下げ(4月1日実施)を決定(「要録」参照)すると同時に、短期金融市場調節のための貸出方式の導入を発表(「要録」参照)
- 23日 ○都銀等、短期貸出金利を引下げ(「要録」参照)
- 26日 ○東京証券取引所はじめ全国8証券取引所、株式の信用取引の委託保証金率を引上げ(30→40%)
○国債引受証券団代表、56年度より4社が新規参加する旨発表(「要録」参照)
- 27日 ○日本銀行、金融機関の預貯金等の金利の最高限度およびガイドラインとしての預金細目金利の変更を決定(「要録」参照)
○日本銀行、割引国債を日銀貸出の担保扱いに改め実施(「要録」参照)

【海 外】

- 2日 ○オランダ銀行、公定歩合引上げを発表(8→9%、3日実施)
- 3日 ○EC、石油の共同備蓄構想につき原則合意
○フランスの大手市中銀行、市中貸出基準金利を引上げ(12.25→13.00%)
- 4日 ○オーストリア中央銀行、市中貸出規制を廃止
- 5日 ○EC委員会、81年の域内経済見通しを下方改訂
○ベルギー中央銀行、債券担保貸付金利を引上げ(12→13%)
- 9日 ○ルクセンブルグ、独立の通貨機関設立を決定
- 10日 ○レーガン大統領、82年度修正予算教書を発表
○英国政府、81年度予算案ならびに中期財政計画を発表
○英国政府、81年度マネーサプライ目標値を発表
○英蘭銀行、最低貸出歩合(MLR)引下げを発表(14→12%、11日実施)
○フランスの大手市中銀行、市中貸出基準金利を小幅引下げ(13.00→12.75%)
- 11日 ○英国、大手ロンドン手形交換所加盟銀行、ベースレート等の引下げを実施
○英蘭銀行、準備資産比率規制上の最低準備率一時引下げの再度実施を発表
- 12日 ○英蘭銀行、金融調節手段の具体的改善案を発表
○英蘭銀行、金融機関の流動性に関するガイドラインの改善案を発表
- 18日 ○イタリア銀行、信用規制の一段強化を決定
- 19日 ○イタリア銀行、条件付オペに入札制導入を決定
- 23日 ○イタリア政府、リラ・レートを切下げ(6%)
○イタリア銀行、公定歩合引上げ(16.5→19.0%)
- 24日 ○EC首脳会議、コミュニケを発表
- 26日 ○フランス、石油製品価格を引上げ
○ベルギー中央銀行、公定歩合を引上げ(12→13%)
- 27日 ○IMF、サウジアラビアの出資割当額(クォータ)の増額およびサウジアラビアからの資金借入を発表
○英国政府、物価スライド条項付国債を発行
○スウェーデン中央銀行、罰則金利を引下げ(17.0→16.0%)
- 31日 ○ベルギー中央銀行、公定歩合を引上げ(13→16%)